

■第51回内科学の展望

講演プログラム

テーマ：生活習慣病をめぐるInterdisciplinary Medicine：病態解明と治療の進歩

【9時45分～9時50分】

開会の辞 第121回日本内科学会講演会 会長 渥美 達也

セッションⅠ 【9時50分～11時50分】（1演題：30分）

座長：琉球大学 益崎 裕章

1) 生活習慣病をめぐるInterdisciplinary Medicineの最前線（1）

（1）腸内環境と生活習慣病：予防と治療の展望

京都府立医科大学 内藤 裕二

（2）老化は制御可能か？

順天堂大学 南野 徹

（3）データサイエンスの活用による

生活習慣病の評価と予防戦略

京都大学 奥野 恭史

（4）膵β細胞不全へのアプローチ：

糖尿病の根治治療を目指して

順天堂大学 綿田 裕孝

昼食休憩【11時50分～12時50分】

セッションⅡ 【12時50分～14時50分】（1演題30分）

座長：北海道大学 渥美 達也

2) 生活習慣病をめぐるInterdisciplinary Medicineの最前線（2）

（1）生活習慣病と密に関わる皮膚疾患

—乾癬の病態解明と治療の進歩—

横浜市立大学 山口 由衣

（2）Onco-Cardiology：がん治療に伴う心臓疾患の最新知見

国際医療福祉大学 小室 一成

（3）Deep Medicine: 人工知能・ロボットを活用する

生活習慣病診療への期待

慶應義塾大学 伊藤 裕

（4）生活習慣病と感染症：診断，治療，予防のポイント

琉球大学 山本 和子

【14時50分～14時55分】

閉会の辞 第51回内科学の展望 会長 益崎 裕章